

事務事業評価シート(平成24年度実績分)

(1) 事務事業の名称・位置づけ [Plan1]

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

事務事業コード	事務事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当係長名
53121	要保護及び準要保護児童生徒就学援助事業	教育委員会	学務係	百瀬 辰夫	石川 あけみ
		一次評価年月日	平成 25 年 6 月 14 日	連絡先〔内線〕	2503
事務事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名)	会計区分		予算コード	事業名(歳出予算見積書)
		<input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	1015	小学校教育振興事務	
	<input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	1037	中学校教育振興事務		
	第五次総合計画前期基本計画の 施策体系における位置づけ	章	(コード選択)	5章	学びあいと育てあいのまちづくり
		節	(コード選択)	3節	学校教育の充実
		項〔基本施策〕	(コード選択)	1項	教育支援の充実
目〔主な施策〕		(コード選択)	2目	相談・支援体制の整備	
関連する計画等への位置づけ	<input checked="" type="checkbox"/> 第五次行財政改革大綱	<input type="checkbox"/> 3ヶ年実施計画	<input type="checkbox"/> 主要業務報告	<input type="checkbox"/> その他	
事務期間	(開始) 年度 ~ (終了予定) 年度	<input checked="" type="checkbox"/> 開始時期不明	<input checked="" type="checkbox"/> 終期設定なし		

(2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。)[Plan2]

①対象(～に対して).....この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。	
経済的理由により修学困難な児童生徒の保護者	
②目的(意図)(～という状態にするために).....この事務事業のサービスを提供することによって対象をどういう状態にしたいのですか。	
国の基準に沿って学校用品や学校給食費を援助し、教育の機会均等を図る	
③手段(事業内容)(～を行う).....上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、事業の実施内容(サービスの概要)を記入します。	
1	国が定める基準額を参考に、前年の所得額と需要額とを比較し、基準額以下の家庭に対し、学用品、校外活動費、修学旅行費、給食費の援助を行う
2	要保護家庭については修学旅行費の援助を行う
3	
4	

(3) 活動指標の設定と推移.....(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。[Do1]

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度			
		23年度	24年度	27年度 (見込み)	達成率	27	年度 (見込み)		
①	指標名	就学援助費交付申請回数		回	5	3	5	0.60	5
	説明	保護者からの交付申請書提出回数		目標値設定の根拠	年度途中で申請を受け付ける				
②	指標名	所得調査及び家庭状況調査		人	126	134	130	0.97	130
	説明	申請者の所得調査と家庭状況調査数		目標値設定の根拠	児童生徒数が減少傾向のため				

(4) 成果指標の設定と推移.....(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。[Do2]

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度			
		23年度	24年度	27年度 (見込み)	達成率	27	年度 (見込み)		
①	指標名	要・準要保護児童生徒数		人	126	134	130	1.03	130
	説明	就学援助費の支給を受けている人数		目標値設定の根拠	児童・生徒数は減少傾向であるが、就学援助費の受給者は横ばい				
②	指標名								0
	説明			目標値設定の根拠					

(5) 総事業費(コスト)の推移 [Do3]

※事業費の算定方法 決算書・予算書等に記載の数字 按分計算による算定

○総事業費(コスト概算) =①+② (千円)		平成22年度 決算	平成23年度 決算	平成24年度 決算	平成25年度 見込み																
		12,103	11,307	11,944	12,156																
対前年比 (%)		/	93.4	105.6	101.8																
A) その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)																					
B) 一般財源(税金)		12,103	11,307	11,944	12,156																
①事業費 (千円)		9,833	9,317	9,914	9,900																
対前年比 (%)		/	94.8	106.4	99.9																
②人件費の概算 (千円)		2,270	1,990	2,030	2,256																
対前年比 (%)		/	87.7	102	111.1																
	課長	課長補佐			係長			一般職員			延べ人数			年間人件費	年間人件費	年間人件費	年間人件費				
	H23	H24	H25	H23	H24	H25	H23	H24	H25	H23	H24	H25	H23	H24	H25	/	/	/	/		
町職員(正規職員)		0.00	0.00	0.00	0.25	0.25	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.25	0.25	2,270	1,990	2,030	2,256
臨時職員		人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算シート)												0	0	0	0				

指標化

(6) 項目別評価 [Check]

視点	項目別評価	判定	評価結果
必要性	1. 事業のニーズに変化はありますか	A	A 増加傾向にある B 変化していない C 減少傾向にある D かなり減少している
	2. 町(行政)が関与する必要性がありますか	A	A 町が主体となる必要がある B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる D 町の関与のあり方を再検討する
目的妥当性	3. 対象の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である Bの場合その具体的な内容をお書きください B 対象の変更の余地がある
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している Bの場合その具体的な内容をお書きください B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	B	A 期待したとおりの成果があった C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 概ね期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった D 成果が少なく今後も向上する見込みがない
	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	B	A すでに実施している A・Bの場合その具体的な内容をお書きください B 今後は可能性がある 児童手当、生活保護 C 今後も可能性はない
効率性	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	B	A 余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面は余地なし C 一部余地あり D かなり余地あり
公平性	8. 受益者負担は適切ですか	B	A 検討の余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり D かなり検討の余地あり
その他	9. 現在の事業内容(サービス)に対して、対象の声やニーズを把握していますか	B	A アンケートなど具体的な方法で把握している A・Bの場合その具体的な把握方法を、Cの場合その理由をお書きください B 日常業務の中で把握している 学校、担任や民生委員等の意見を参考にしている C 把握していない

(7) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) **口**を一つチェックしてください。

- ア. 現状のまま継続する イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止

<今後の展開方針>(イを選択した場合のみ口を一つチェックしてください)

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)
 b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)
 c 効率化を図る(コストを下げる)
 d 縮小する(簡素化する)
 e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)

事業改善の経過

(前年度で記入した事業の方向性の具体化内容についての評価やこれまでに事業改善をした経過を記入します。)

町の支給要綱を整備し、平成24年度から要保護児童生徒にも修学旅行費を支給できるよう改善を図り、3人に支給した。

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)

25年度予算見積書への反映 あり なし

【反映内容】

全家庭に対して制度を広報し、援助が必要な困窮者に補助できるようにする

予算不足の場合は補正対応する

(8) 所屬長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)

生活困窮世帯の児童生徒への教育の機会均等の確保のために、成果を上げており、今後も必要な事業であるので引き続き実施する。

上位の施策の推進に貢献していますか。口をチェック

A. 貢献度 大 D. 上位施策なし
 B. 貢献度 中
 C. 貢献度 小

(今後の方向性 口を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持 イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止

上記 a~e を選択